

パイプハウスの災害被害防止のためのチェックシート

確認日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

パイプハウスは、低コストな資材を活用して作られています。このため組み立てやすいように支柱は差し込み式で金具類はクサビやネジで構成されているため、気象災害を受けやすい施設となります。

このため、日々の点検やメンテナンスをしっかりと行い、施設に合った補強方法を活用していきましょう。

また、突風・地震などを除けば、台風や降雪については、事前に天気予報等で詳細な情報が手に入りますのでしっかりとした準備を行きましょう。

No.1

	No	チェック項目	チェック欄	対処方法
普段のチェック	1	被覆が破れていないか？		<ul style="list-style-type: none"> ・適期の被覆更新を心がける。 ・破れは速やかに補修テープ等で塞ぐ。 ・農POで硫黄燻蒸を行っている場合は注意！
	2	パイプが錆びていないか？ (特に地際部や金具の接続部)		<ul style="list-style-type: none"> ・錆が見られたら早期に再塗装を行う。 ・地際部の腐食が激しい場合はパイプを添えて補強する。
	3	部品に緩みがないか？ (クサビなどの外れ)		<ul style="list-style-type: none"> ・金具に緩みがないか？適切な位置になっているか確認する。 ・部品が外れていないか？欠落していないか確認する。
	4	出入り口のガタツキはないか？		<ul style="list-style-type: none"> ・入口部の損傷や腐食の場合は速やかに部品を交換する。 ・開けにくい、外れ易いなどは調整する。
	5	出入り口から隙間風は入らないか？		<ul style="list-style-type: none"> ・扉の閉時に隙間を確認し、隙間を補修する。
	6	フィルム押さえに損傷はないか？ (スプリングやマイカー線など)		<ul style="list-style-type: none"> ・マイカー線は適期更新し、破損は速やかに交換する。 ・スプリングは外れや腐食などを確認し適時更新する。
	7	道具類の準備		<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ必要になる資材は常に準備しておく。 ・脚立、工具、農具など必要などはすぐ使用できるようにする。
	No	チェック項目	チェック欄	対処方法
台風・降雪前のチェック(準備)	8	応急修理用の資材を準備する。 (被覆材・補修テープ・スプリング・マイカー線など)		<ul style="list-style-type: none"> ・被覆材はあてがう程度は準備しておく。 ・補修テープ、スプリング、マイカー線はある程度準備しておく。
	9	ハウス周辺の片づけ。 (飛ばされて破損されない様に)		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺にハウス部品、コンテナ類、シート類など飛散が予測される物は片づける。
	10	谷樋があるハウスはゴミが詰まっていないか確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・降雨降雪時に樋の雨水があふれないようゴミを取り除く。 (特に近くに樹木がある場合は必ず確認する)
	11	ハウス周辺の排水対策を行う。 (明渠等の掘削)		<ul style="list-style-type: none"> ・明渠の掘削を行うだけでなく排水先を確保する。
	12	燃料タンク類の固定はしっかりしているか？		<ul style="list-style-type: none"> ・燃料が入っている場合は特に注意し、周辺を利用し固定する。 (転倒し油が流出すれば被害は拡大する)
	13	【融雪対策】 燃料は満タンになっているか？		<ul style="list-style-type: none"> ・降雪前に十分な室内温度を確保し、融雪に努める。この際、室内のカーテンや内張りは空けて融雪の効果を上げること。
	14	【融雪対策】 ウォーターカーテン活用のハウスは作動を確認しておく。		<ul style="list-style-type: none"> ・屋根に着雪前にウォーターカーテンを作動させることにより室内の放熱抑制と融雪効果を促す。